



# 有機合成化学を起点とするものづくり戦略 ミニシンポジウム

主催：日本化学会新領域研究グループ「有機合成化学を起点とするものづくり戦略」

共催：新学術領域研究

「反応集積化の合成化学 革新的手法の開拓と有機物質創製への展開」

日時：2011年11月14日(月) 13:00~17:00

会場：東京大学小柴ホール

## 招待講演

空間で時間を制御する合成化学

吉田潤一先生(京大院工)

アルキンの求電子的活性化を基盤とする多環性骨格構築手法

草間博之先生(東工大院理工)

## 新領域研究グループメンバー講演

効率的結合形成反応を起点とする

有機合成化学者のための「合成生物学」の開拓

田中克典(阪大院理)

縮環インドール類の新しい生物活性の探索：KSP阻害剤の創製

大石真也(京大院薬)

高反応性分子を駆使した新規  $\pi$  共役系分子の創製

羽村季之(関西学院大理工)

詳細なプログラム、お申し込みに関する情報は、ホームページをご覧ください。  
皆様のご来場をお待ちしております。

<http://orgsynth.csj.jp/2011minisymposium.html>

世話人：横島聡(東大院薬)、辻勇人(東大院理)、平井剛(理研基幹研)